

大学の世界展開力強化事業（平成 29 年度採択）中間評価結果

大 学 名	金沢大学
整理番号	AR04
事 業 名	日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
コメント 本プログラムは、4つの単位・学位取得型交流プログラムを構築し、日露間の学生・学術交流の抜本的な拡大に向けた基盤を作り、交流人数・対象大学数の拡大のみならず、語学力向上やインターンシップ等「実学」の機会創出など、質的な充実も念頭に置きながら、新たな価値の創造から未来の創造を牽引するリーダーを育成することを目的としている。 交流学生数は派遣・受入ともに中間評価実施時点までの目標を達成し、特に派遣においては1年前倒しで達成している。基礎科学プログラムではダブル・ディグリープログラムが始動したほか、インターンシップに関しては受入企業数が大幅に増えるとともに、両国学生をペアで派遣する仕組みを構築しており、今後の拡大が期待される。また、ロシア語に堪能で文化的背景を熟知する特任教員を雇用することでプログラムの円滑な運営に配慮しているほか、地域間の学術・文化・経済交流の基盤とするべく、石川～ロシア大学交流コンソーシアムを設置するなど、同国との地域交流にも注力している。 交流活動は計画に沿って行われている一方で、その大半が3か月未満であることから、今後は短期に留まらず単位取得を伴う長期の交流に繋げていくための取組や、日本人学生の外国語力基準の達成に向けて相当の努力が必要であるとともに、ロシア人学生向けにウェブサイト等で彼らのニーズに合致する情報をロシア語で提供することが必要である。また、補助金の支出が特定の費目に過度に偏っていることから、補助期間終了後も見据えつつ、改善していくことが望まれる。 最後に、今後も補助期間終了後の安定的な財源確保に努めるとともに、学内や関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的にプログラムを展開していくことを期待する。	